

開設講座名	【選択】「主体的・対話的で深い学び」 を実現するための学習評価 —「書くこと」の評価を例にして—	担当講師	池田 史子		
講習会場	山口県立大学（南キャンパス） D館D24教室	会場所在地	山口市桜島 3-2-1		
開設日	平成30年8月22日（水）	時間数	6時間	受講定員	32人
募集期間	平成30年5月20日～6月3日	履修認定 時期	平成30年9月30日まで		
履修認定 対象職種	教諭	主な 受講対象者	中学校・高等学校教諭		
受講料等総額	6,000円	うち受講料 以外の経費	0円		
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「主体的・対話的で深い学び」とはどのような学びかを理解し、説明することができる。 2. 学習評価の基礎的な考え方を理解し、授業デザインにふさわしい評価方法を選択することができる。 3. 「書くこと」の授業デザインの考え方を理解し、説明することができる。 4. ルーブリック評価について理解し、実際に作成することができる。 					
<p>【講習の概要】</p> <p>自己の学びに見通しを持って、学びのコントロールを行いながら、能動的に学び続ける学習者の育成が求められている。そのためには、どのような授業改善を行えばよいのか。対話を通して考えを深めるような「書くこと」の授業設計と、その学習評価のあり方を中心に、講義と演習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「主体的・対話的で深い学び」 「主体的・対話的で深い学び」とは、どのような学びか。それが求められるのは、なぜか。 2. 学習評価の基礎的な考え方 学習評価にはどのようなものがあるか。主体的な学びを促すためには、どのような評価方法が適切か。 3. 「書くこと」の授業デザイン 論理的文章を、対話を通じて組み立てていくための授業デザインにはどのようなものがあるか。 4. ルーブリック評価（1） ルーブリック評価とは何か。評価表はどのような点に留意して作成すべきか。 5. ルーブリック評価（2） ルーブリック評価表の作成演習。 6. 認定試験 「主体的・対話的で深い学び」とはどのような学びか、学習成果をどのように評価できるかについて。 					
<p>【評価の方法・評価基準】</p> <p>評価の方法：筆記試験の結果による。 合格：「到達目標」に達している。 不合格：上記以外。</p>					
<p>【テキスト・参考資料】</p> <p>テキスト：授業当日に資料を配布する。 参考資料：新しい『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』に目を通しておいてください。</p>					
<p>【受講者への伝達事項】</p> <p>ご自身の授業を振り返るためのきっかけにいただければ幸いです。</p>					